

# かもめ便り

記事紹介

精神科救急開始	——	1面
防災訓練	————	2面
高齢者配食サービス	——	2面
地域交流・ダンス披露	—	3面
薬局だより	————	3面
医療エッセイ	——	4面

【発行・編集】社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院 理事長 鎌田啓三  
徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 TEL. 088-688-0011(代)

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/>

シーガル病院



2014年も残すところ、あとひと月となりました。かもめ便り第7号では今年後半の出来事を掲載しました。ぜひご一読ください！

左の写真は、とくしま病院ガイドに掲載された当院の医師・看護師のガッツポーズ写真です。この写真のように、職員一同、元気いっぱい、笑顔いっぱいで日々頑張っています！

これからも小渦会 鳴門シーガル病院をよろしくお祈りします！



## シーガルニュース

### 精神科救急開始！浮棧橋新設とシーガル2号新造

#### 精神科救急開始

今年の4月より徳島県の精神科救急医療体制への参加に伴い、新船「シーガルNo. 2」による渡船運航の開始、更に病院側の岸に浮棧橋が新たに設置されました。

潮汐の干満に対応して、船と棧橋の高低差を無くして高さを一定に保つことができるので、車椅子等の方の乗り降りも以前よりスムーズに行えるようになりました。

また、新船は以前より少し小型化した代わりに小回りが良く利くようになり、現在ももちろんのこと今後も緊急時等のますますの活躍が期待されます。

事務部 内藤 賢一



横方向から見た浮棧橋



シーガル2号進水式の様子



浮棧橋に接岸中のシーガル1号(奥)とシーガル2号(手前)



## 津波災害に備えて

右の写真は、9月に行った避難訓練の様子です。

日勤帯に起こった地震による津波を想定し、職員を1階病棟の患者さんに見立てて、2階への搬送を試みる、というシナリオです。2つの避難経路を設定し、職員を2班に分けて、いくつかの搬送方法を試しながら、避難にかかる時間を計測しました。

突発的に起こる災害の混乱状態の中では、平時のような判断や行動を行うことは難しくなります。実際に行動してみると、机上の想定だけでは見えてこないさまざまな隠れた課題が見つかりました。

有事の際に落ち着いて適切な行動が行えるように、今後も継続して様々なケースを想定した訓練を行い、職員一人ひとりの災害対応力を高めていきたいと考えます。

救急・防災担当 藤家 豊美



## 地域交流

### 配食サービスを始めました！

#### 地域と共に生きる 病院として

今年度から社会貢献事業のひとつとして、地域の独り暮らしのお年寄りや高齢者のみの世帯に対して、無料のお弁当をお配りするサービスを始めました。

先日、地域のボランティアの協力を得て、第2回目の配食サービスを行いました。



約100名のお年寄りお一人おひとりに、それぞれ手渡しでお届けすることで安否確認と地域の絆づくりにも一役買っています。

次回もどうかお楽しみにお待ちください。

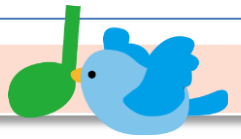
事務部 石田 博





## 地域交流

## 地域との交流会を行いました！



## 楽しいダンス披露

10月1日の午前、堂浦婦人会の皆様が訪問され、フラダンスや踊り等を披露してくださいました。

フラダンスの指先からつま先まで流れるような柔らかな動きと、曲目にあわせて衣装・飾りもチェンジして趣向を凝らしたダンスに感動しました。



「森の小人」は、メンバー手作りの衣装を身にまとい、コミカルに踊る様子に、割れんばかりの歓声と拍手喝采のるつぼと化しました。

患者さんも一緒に歌ったり身体を動かしたりして、童心に帰った気分で楽しいひと時を過ごすことができました。



事務部 石田 博



薬局だより

インフルエンザ  
予防！

## ワクチン接種の効果

「インフルエンザワクチンの接種を受けたのにインフルエンザにかかった」というお話をよく頂きます。

残念ながら現在のワクチンは絶対にインフルエンザにかからなくなる、というものではありませんのでこのような経験をされることもあるかと思えます。

そのうえで、このようなお話が多いのは、もしかするとワクチンの働きそのものにも、少しだけ誤解があるのかもしれない。

インフルエンザにかかる時は、インフルエンザウイルスが口や鼻などを通して、体の中に入ることから始まります。体に入ったウイルスは、次に細胞の中に入り増殖していきます。この状態を「感染」といいますが、ワクチンにはこの「感染」を抑える働きはありません。

感染して数日の潜伏期間が過ぎると、発熱やのどの痛みなどのインフルエンザの症状が現れてきます。この状態を「発症」といいますが、ワクチンにはこの「発症」を抑える働きがあります。

## 感染予防の心がけ

そのため、インフルエンザにかからないようにするためには、「発症」を抑えるため、インフルエンザワクチンを接種することはもちろん重要ですが、「感染」を抑えるために、人込みをさけたり、手洗いやうがいをするなどの一般的な予防法も併せて行うことが大切です。



薬剤師 水上尚樹



前回は心ならずも新婚論になってしまったので、今回は恋愛論について述べてみます。

遠い昔の学生時代、ある若い女性に一目惚れをしたことがあります。どこからか迷い込んできた野良猫を可憐にあやす仕草にとても惹かれてしまいました。無粋な事とは思いつつも、あえてこれを医学的に分析してみたいと思います。

まずその仕草に伴う視覚、聴覚、嗅覚などの感覚情報が脳内に取り込まれ、統合された状態となり、それが身体へフィードバックされ心地よい身体感覚が生み出されます。そして今度はその状態が再び脳に反映され、対象に対して自分が好意を感じたということがわかります。その後は脳内に新しくできたポジティブな回路が働き始め、その人の姿を見たり、その人のことを考えたりするたびに強く刺激され、最初に抱いた感覚が再現されます。

この回路は刺激を受けるたびにより強化され、主観的にその女性が好きだという自覚がはっきり

と構築されていきます。心地よい対象と認識されることによって、より接近したくなり、もっと相手のことを知りたいという欲動が生じてくるはずですが、そして対象に対する感覚は修飾を受けて以前よりもっと素敵に対象を自覚させます。このパターンがいわゆる一目惚れした状態と言えます。気をつけなければならないのはこれは自分のみに起こっている変化であり、対象に何か変化が起こっているかどうかはわからないという点です。

多くの人はこの時点で自分の行動をとめてしまいます。次の行動に進むために必要なものは「自惚れ」です。まぶしく映る対象は自分より高い存在に感じるのので腰が引けてしまいがちになりますが、何ら根拠のないものでも「自惚れ」があれば次のステップに進める確率が高まります。そして好意的な行動を示して、対象の反応を吟味します。それがポジティブなのかネガティブなのか、はっきり判断できれば自ずと次の行動も決まってきます。

しかし、その判断がつかない場合は知らぬ間に対象に溺れてしまうことがあるので要注意。

なお嫌悪刺激は類似の刺激にも反応を引き起こすようになり、パニック障害やPTSDの病的基盤にもなりえますが、毎日猫を可愛がって遊んでいる医局の女性医師M先生の姿を見ても特別な感情は何ら浮かんでこないの、好意反応は限局した対象の時のみに起こり、これは決して病的な状態ではないと考察できます。可愛い仕草が飛び込んで思わずときめいた瞬間、純粹だった小生にとって、それはとんだ笑い種と決めつけられない貴重な青春の一コマでした。

注) M先生はすでに退職されています。



医師  
澤田和之

## 【編集後記】

寒さも一段と厳しい今日この頃ですが、体調管理をしっかりとして、健康で有意義な年末をお過ごしください。

次号(『かもめ便り』第8号)は、2015年1月末に発行の予定です。

編集担当 武田

社会福祉法人 小湊会URL



## 鳴門シーガル病院 交通案内

- JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

- 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料)運行時間

午前7時30分から午後5時15分まで

定時運行(10分～30分おき)しています。



TEL088-688-0011(代)

